



# 学校だより



横浜市立浦島丘中学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/urashimaoka/> ☎045-421-6281

## 行事での輝き！

校長 飯田 太

5月にはコロナ感染症が感染症法上2類から5類に移行し、まだまだ油断はできないものの、コロナ禍以前の学校教育に戻り、無事に1学期の終業式を迎えられることに、心から感謝しています。

夏季休業中も部活動等生徒の活動は続きます。引き続き感染症対策と熱中症予防に細心の注意を払いながら進めていきます。特に熱中症予防対策として、登下校中や運動時には、マスクを着用する必要はありません。ご理解、ご協力よろしくお願致します。

今年度の本校の学校閉庁日は、8月7日から8月16日です。この期間は、日直の職員もおりませんので、留守番電話で対応させていただきます。閉庁期間は緊急時に限り、東部学校教育事務所（045-411-0608）で受け付けていただけることになっています。それ以外は、閉庁日後に学校までご連絡ください。

6月28日、天候に恵まれ、とても感動的な一日を過ごすことができました。それは、「浦中『破輪一』を解き放て！」というスローガンを実現した見事な体育祭だったからです。

行事には、必ず自分自身の力を発揮できる場があります。みんながあなたを見直す場があります。行事には準備や運営、片付けなど様々な活動の場があります。自分はどのような場で自分の力を発揮することができるのか。どのような場が自分の力を発揮しやすいかを見つけてください。行事に取り組む時、人に自分と同じことを求めてはいけません。自分ができるからといって、人もできるとは限りません。案外、自分が出せないことを、人ができるものです。違うそれぞれが、それぞれの力を発揮して一つにまとまるなんて素晴らしいと思いませんか。自分と違う人と一緒に感動していきましょう。今後も行事で輝き、仲間意識をさらに高めてください。

令和5年度 体育祭 結果

浦中伝統のソーラン節

	1年	2年	3年
総合優勝	5組 (267点)	4組 (332点)	2組 (302点)
準優勝	6組 (266点)	2組 (282点) 5組 (282点)	4組 (278点)



## 体育祭実行委員長の言葉

全校のみなさん、体育祭お疲れさまでした。とても暑い中行われた体育祭でしたが、体調管理をしながら過ごすことが出来たでしょうか。今年の体育祭のスローガンである「浦中波輪一を解き放て」を意識し、各学年の選択した種目などで学年の壁をこえて全力で応援し盛り上がっていて、スローガンにふさわしい体育祭になったと思います。一年生は初めての体育祭、二・三年生はクラスが変わってから初めての行事だったと思いますが、この体育祭でクラスの輪が広がって、いい思い出になったかと思います。今のクラスの輪を大切に、何事にも全力で過ごしていきましょう。



## 第1回 学校運営協議会 開催

学校運営協議会とは、地域と保護者と学校が目標を共有し、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みです。

設置による成果や効果として ①学校運営に対する適切な意見を、様々な立場や視点からもらうことができる。②学校評価を適切に行えることができる。③保護者や地域の理解を得るために、学校運営協議会側からの発信を活用することができる。などが考えられます。

6月23日(金)にととても和やかなのムードで、開催することが出来ました。令和5年度の浦島丘中学校中期学校経営方針について、昨年度の反省を振り返り、様々な視点からご意見を伺えることができました。ありがとうございました。

## 進路説明会開催 7月3日

進路に関する学校としての考えを理解していただくとともに、進路についての大切な情報を提供して、生徒の進路選択の一助とするために、3年生と保護者の方々は体育館で、2年生は各教室を結びリモート中継で進路説明会を行いました。

今年度は神奈川県立岸根高等学校と横浜商科大学高等学校の先生をお招きし、公立高校と私立高校について具体的に説明を行っていただきました。「学校選びは、実際に足を運んで、自分の目で見るのが大切」「高校の特徴を理解し、目的意識をもって、進学する」等、大切なアドバイスを頂きました。夏休みを利用し実際に肌で感じてください。

## よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

「よこはま子ども国際平和プログラム」の一環として、横浜市が開催しているコンテストです。市内の小中学生の国際平和への意識を高めるために開催され、今年で27回目を迎えます。6月26日に、本校からも代表生徒が区の選考会に参加し、「平和で公正な社会」をテーマに「暮らしやすさにハンデのない社会へ」という題目で、自分にできることを考えたすばらしいスピーチを神奈川県役所で披露しました。自分自身の実体験にもとづくスピーチで、「人々の理解と行動の努力が集まれば、みんなの心が豊かで、暮らしやすい社会への変化になる」ということをわかりやすく伝えることができました。区の代表として選考され、横浜市の本選に出場することとなりました。